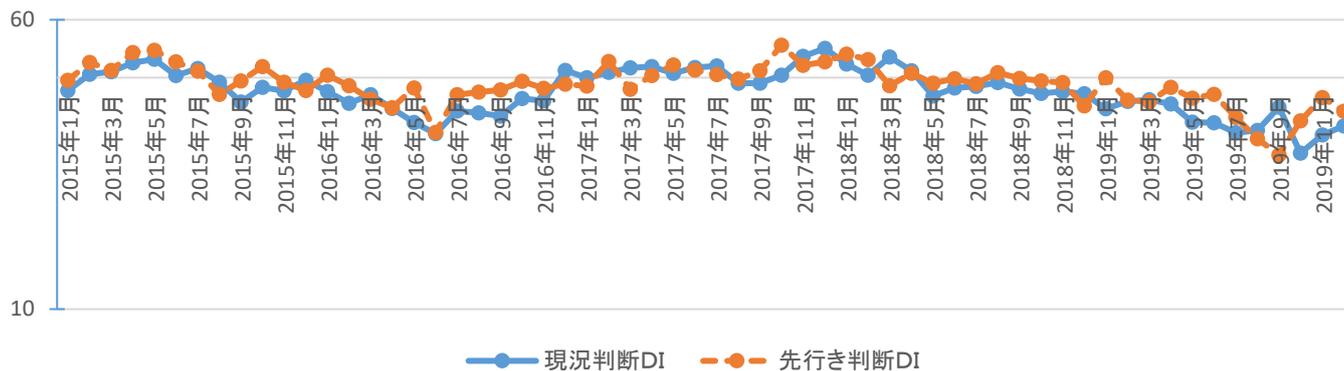


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2019年12月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《来客数の動き》12月は来客数が前月より回復してきた印象を受ける。前年より増えている店も多く、減少している店も、減少の仕方が穏やかになっている。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	《販売量の動き》消費税増税後の落ち込みから徐々に回復してきており、今月に関しては新車効果もあり、前年並みの販売台数で推移している。【乗用車販売店（従業員）】
		やや悪	《販売量の動き》競合店には政府主導のキャッシュレス・消費者還元事業に参加している企業が多いが、当社は事業に参加していないため、直近では最寄り品の販売動向が鈍っている。【コンビニ（商品企画担当）】
	企業動向関連	やや良	《受注量や販売量の動き》ようやく北米向けの自動車設備に関して、受注につながりそうな引き合い情報が入ってくるようになった。【一般機械器具製造業（営業担当）】
		不変	《取引先の様子》業種によって違うが、建築設計業等は比較的順調に仕事があるが、それ以外のところはやや低迷しているという状況である。【金融業（従業員）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》12月は1年を通して最も消費が多く荷動きが活発な月であるが、今年は消費税引上げに加え暖冬が重なり、これまでになく一般消費財、工業製品共に荷動きが低調である。【輸送業（役員）】
	雇用関連	やや良	《周辺企業の様子》主要客である自動車メーカー全体で予算削減の動きが出ているが、予算を使うところは使っており、今月は数か月ぶりに新規契約や予算増額もあったため、3か月前よりも景気がやや良くなった。【人材派遣会社（営業担当）】
		不変	《求人数の動き》求人数は引き続き増加傾向にあるが、採用する人材に関しては厳選する傾向が強まってきている。【民間職業紹介機関（営業担当）】
		やや悪	《求職者数の動き》求人数は依然として高い水準にはあるが、以前のような右肩上がりの状況ではなく、製造業を中心に減少傾向にある。【職業安定所（次長）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計動向関連	やや良	問合せやコール等のアクセスはまあまあある。2～3か月後に向かって全般的に順当に動いていくのではないかと見込まれる。【乗用車販売店（従業員）】
		不変	12月は暖かい日が続いたためか、2月の入場者予約数は前年同日と比べ好調である。しかし、今後は寒い時期となるので、不安要素もあり景気は変わらないと見込む。【ゴルフ場（支配人）】
		やや悪	2～3か月後は予定等が減る。また、客はどうしても必要な物に優先して金を使う傾向があるので、少し下降気味になる。【美容室（経営者）】
	企業動向関連	やや良	東京オリンピックのある時期ということも含め、建築設計業などでは活性化しているような状況もみられ、最終段階として業務的には忙しい印象を受ける。【金融業（従業員）】
		不変	取引先が先送り、受注に応じた生産になっているため、思うようには回復は見込めないという話を聞く。【電気機械器具製造業（経営者）】
		やや悪	自動車関連産業でのガソリンから電気への構造変化や、国内生産量の成熟化の流れは不可避である。中堅中小企業の事業承継問題は、短期的には解決ができない。【公認会計士】
	雇用関連	やや良	—
		不変	人手不足と感じている企業の声が多い状況は変わっていないが、一部の製造業は、先行きを不安視し採用抑制を検討している。【職業安定所（次長）】
やや悪		今月が良かっただけにやや悪くなる。ただし、1月は法人関係の新年会や賀詞交歓会での予約状況が例年より良い。【人材派遣会社（社員）】	